

本書について

車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

マークについて

本書で使用しているマークと意味は以下のとおりです。



スイッチやレバーなどの操作方向を示しています。



車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なることを示しています。

電子版の取扱説明書について

QRコード対応携帯電話から、右のQRコードを読み取るだけで、電子版の取扱説明書が閲覧できます。

URLを直接入力してアクセスする場合は、以下のURLを入力してください。

<http://www.nissan.co.jp/>

[OPTIONAL-PARTS/NAVIOM/NOTE/index.html](http://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVIOM/NOTE/index.html)



サイトの閲覧には別途、通信料が発生します。パケット定額サービスなどの料金制度に加入されていない場合、パケット通信料が高額となりますので予めご注意ください。

目次

● エンジンの始動・停止 ★	2
● 電源ポジションの切り替え ★	3
● アイドリングストップ ★	4
▶ 作動／非作動の切り替えかた	5
● アラウンドビューモニター (MOD機能付) ★	
▶ 使いかた	6
▶ 画面の切り替えかた	6
▶ 各画面の見かた	7
● LDW (車線逸脱警報) ★	
▶ システムの作動	8
▶ ON／OFFのしかた	8
● 踏み間違い衝突防止アシスト ★	9
▶ OFFのしかた	10
● エマージェンシーブレーキ ★	
▶ システムの作動	11
▶ OFFのしかた	12

エンジンの始動・停止 ★

インテリジェントキーを携帯しているとき、エンジンの始動・停止を行うことができます。

エンジンの始動

● オートマチック車



+



ブレーキペダルを踏む + エンジンスイッチを押す

パーキングブレーキがかかっていることと、セレクトレバーが **P** になっていることを確認してください。

● マニュアル車



+



クラッチペダルとブレーキペダルを踏む + エンジンスイッチを押す

パーキングブレーキがかかっていることと、シフトレバーが **N** になっていることを確認してください。

エンジンの停止

● オートマチック車



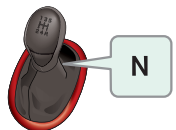
+



セレクトレバーを **P** にする + エンジンスイッチを押す

パーキングブレーキがかかっていることと、セレクトレバーが **P** になっていることを確認してください。

● マニュアル車



+



シフトレバーを **N** にする + エンジンスイッチを押す

パーキングブレーキがかかっていることと、シフトレバーが **N** になっていることを確認してください。

電源ポジションの切り替え ★



ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押す

押すたびに以下のように切り替わります。

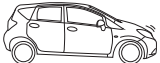
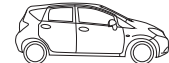
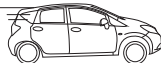


パーキングブレーキがかかっていることと、オートマチック車はセレクトレバーがP、マニュアル車はシフトレバーがNになっていることを確認してください。

※電源ポジションがOFFのとき、いずれかのドアを開けるか、又は閉めるとハンドルがロックされます。

アイドリングストップ ★

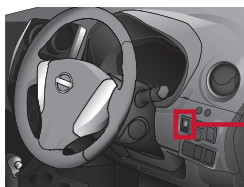
信号待ちなどで、車両を停車させると自動的にエンジンを停止し、再び走行するときは自動的にエンジンを始動することで、排気ガスの発生や騒音を抑制するとともに燃費を向上させます。

車両状態				
	減速	停車	停車からクリープ	発進
表示灯※	 点灯	 点灯	 消灯	 点灯
ペダル操作	 ブレーキON	 ブレーキON	 ブレーキOFF	 アクセルON
エンジン	エンジン回転中	エンジン停止 (アイドリングストップ中)	エンジン再始動	エンジン回転中
動作説明	ブレーキを踏んで減速します。	停車すると、自動的にエンジンが停止します。	ブレーキを離すと、自動的にエンジンが再始動して、車両が動き出します。	走行中、再びアイドリングストップを使用できる条件を満たすと、表示灯が点灯します。

※アイドリングストップ表示灯が点灯しているときに停車すると、アイドリングストップできます。

- アイドリングストップ中は、エアコン（冷房・暖房・除湿機能）がOFFになり、送風になります。暑すぎたり寒すぎたりする場合は、アイドリングストップOFFスイッチを押すか、ハンドルを少し回すなどしてエンジンを再始動し、エアコン機能を作動させてください。
- 窓ガラスがくもったときは、吹き出し口切り替えダイヤルをデフロスター位置にし、且つ風量切り替えダイヤルをOFF（0）位置以外にする（マニュアルエアコン付車）又はデフロスタースイッチをON（オートエアコン付車）にしてください。その場合、アイドリングストップは解除され、エンジンが再始動します。
（エアコンのスイッチの詳しい取り扱い方法については、取扱説明書の「エアコンの使いかた」をお読みください。）

作動／非作動の切り替えかた



アイドリングストップ
OFFスイッチ



表示灯

アイドリングストップOFFスイッチを押す

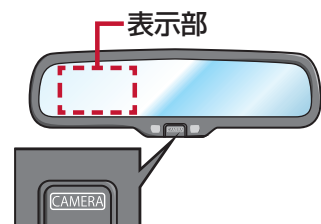
スイッチを押すごとにアイドリングストップの作動／非作動を切り替えることができます。

スイッチ	表示灯	アイドリングストップ 作動／非作動
ON	点灯	非作動
OFF	消灯	作動

アラウンドビューモニター(MOD機能付)★

お車を真上から見たような映像をルームミラーに映し出すことによって、車両の周囲を確認し、駐車時や発進時の運転をサポートします。

使いかた



CAMERAスイッチ

- バックで駐車するときに車両周囲を確認したいとき

セレクトレバーを **R** に入れる

自動的に真上から見たような映像(トップビュー)と後方の映像(リヤビュー)を表示部に表示します。

- 発進するときに車両周囲を確認したいとき

セレクトレバーが **R** 以外のときにCAMERAスイッチを押す

トップビューと前方の映像(フロントビュー)を表示部に表示します。

※車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。

画面の切り替えかた

CAMERAスイッチを押す

CAMERAスイッチを押す度に画面が切り替わります。

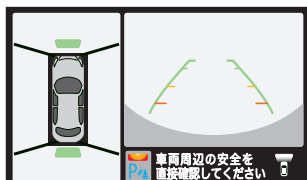
右側の画面はセレクトレバーが **R** のときと **R** 以外のときで異なります。

R のときはリヤビューを、**R** 以外のときはフロントビューを表示します。

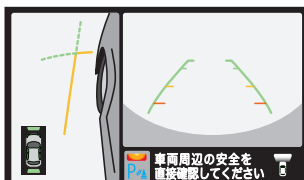
ビュー切り替え表示例：セレクトレバーが **R** 以外のときにビューを切り替えたとき

アラウンドビューモニターOFF

トップビュー+フロントビュー画面



サイドブラインドビュー+フロントビュー画面



P4

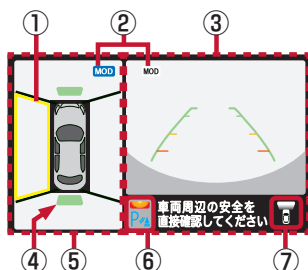
車両周辺の安全を
直接確認してください

P4

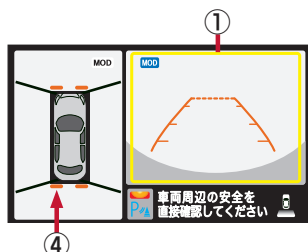
車両周辺の安全を
直接確認してください

各画面の見かた

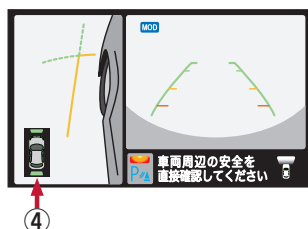
トップビュー+フロントビュー画面



トップビュー+リヤビュー画面



サイドブラインドビュー+フロントビュー画面



- ① MOD(移動物検知)表示
MOD(移動物検知)機能で移動物を検知したときに、黄枠でお知らせします。
- ② MOD(移動物検知)機能作動状態アイコン
MOD(移動物検知)機能を作動させる側の画面のアイコンを青色で表示します。
MOD : MOD(移動物検知)機能が作動します
MOD : MOD(移動物検知)機能が作動しません
- ③ 右画面
セレクトレバーが**R**のときはリヤビューを、**R**以外のときはフロントビューを表示します。
- ④ ソナー警告表示
検知している物との距離に応じて、色が緑⇒黄⇒赤と変化します。
- ⑤ 左画面
トップビュー又はサイドブラインドビューを表示します。
- ⑥ ソナーインジケーター
ソナー機能のON又はOFFを表します。ソナー機能がONのときはソナーインジケーターが点灯し、OFFのときは消灯します。
- ⑦ 方向指示アイコン
右側画面を映している方向を表します。
🚗 : リヤビュー表示
🚗 : フロントビュー表示

- 車速約10km/h以下で前進中にソナーが障害物を検知した場合は、自動的にアラウンドビューモニター画面に切り替わり、ソナー表示とブザーでお知らせします。
- ソナーブザーが鳴っている場合はMOD(移動物検知)機能ブザーは鳴りません。
- サイドブラインドビューにはMOD(移動物検知)機能が作動しないため、**MOD** アイコンも表示しません。

※本システムについての重要な注意事項が記載されているため、必ず取扱説明書もお読みください。

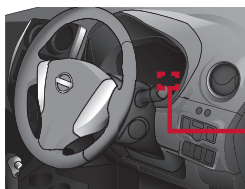
LDW(車線逸脱警報) ★

車速約60km/h以上で、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうになると、警報音と表示によって運転者に注意を促します。

システムの作動

走行車線のレーンマーカを検知し、右側もしくは、左側のレーンマーカに近づいたと判断すると、運転者に警報します。

*レーンマーカとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。

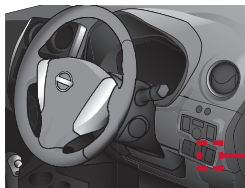


メーター内表示灯
(点滅)



※車種、グレードにより、メーターの形状が異なります。

ON/OFFのしかた



スイッチ



表示灯

スイッチを押す

スイッチを押すごとにLDW(車線逸脱警報)のON/OFFを切り替えることができます。

表示灯	ON/OFF状態
点灯	ON
消灯	OFF

※本システムについての重要な注意事項が記載されているため、必ず取扱説明書もお読みください。

踏み間違い衝突防止アシスト ★

車速約15km/h未満において、アクセルペダルとブレーキペダルを間違えて踏み込んだり、ブレーキ操作が遅れたときに、自動的にエンジン出力やブレーキを制御することで、過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。

● 低速加速抑制機能

進行方向の正面に壁などの障害物がある場合に、アクセルペダルを素早く、半分以上踏み込むと、警報音が鳴り、自動的に加速が抑制されます。

加速が抑制されたときは、アクセルペダルを一旦戻してから再び踏みなおすか、約6秒経過すると、抑制は解除され通常の加速に戻ります。

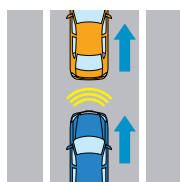
アクセルペダルをゆっくりと踏んだときは、深く踏み込んでも作動しません。

● 低速衝突軽減ブレーキ機能

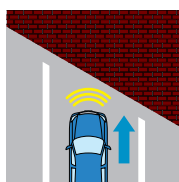
進行方向の正面にある障害物に近づくと、警報音が鳴り、短い間自動的にブレーキがかかります。

低速衝突軽減ブレーキ機能が作動した後、さらに障害物に近づいても再び作動しません。

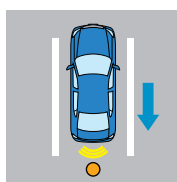
次の場合は、システムが作動しないことがあります。



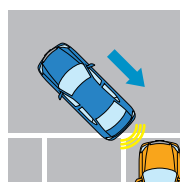
動いているもの



斜めの面



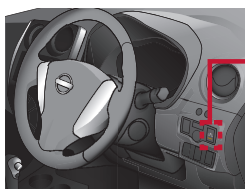
幅の狭い障害物



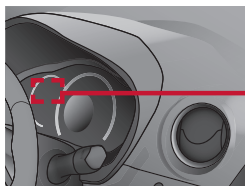
車両の角部

OFFのしかた

踏み間違い衝突防止アシストを一時的にOFFにしたいときにはエマージェンシーブレーキ/踏み間違い衝突防止アシストスイッチを使用します。



表示灯



警告灯

スイッチを押す

- ・ 踏み間違い衝突防止アシストをOFFにするとスイッチの表示灯が消灯し、メーター内の警告灯が点灯します。
 - ・ 踏み間違い衝突防止アシストをOFFにするとエマージェンシーブレーキもOFFになります。
 - ・ 踏み間違い衝突防止アシストのみOFFにすることはできません。
- ※車種、グレードにより、メーターの形状が異なります。

踏み間違い衝突防止アシストの設定をOFFにした場合でも、再度エンジンを始動させると自動的にONになります。

※本システムについての重要な注意事項が記載されているため、必ず取扱説明書もお読みください。

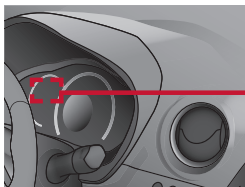
エマージェンシーブレーキ ★

エマージェンシーブレーキは前方の車両や歩行者と衝突する危険を察知した場合、警報と自動ブレーキにより、ドライバーの衝突回避操作を支援します。

システムの作動

- エマージェンシーブレーキは、約10km/h～80km/hの範囲で作動します。
停止している車両や歩行者に対しては約60km/h以上では作動しません。
- システムが衝突するおそれがあると判断すると、運転者に警報を行います。
(警報音とともにメーター内の警告灯が点滅し、軽いブレーキで衝突回避操作を促します。)
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突の危険性が高まったときには、警報音が切り替わるとともに、衝突の直前に自動的にブレーキが作動します。

アクセルを強く踏み込んだり、ハンドルを大きく、または素早く切ると自動ブレーキの作動は解除されます。



警告灯

※車種、グレードにより、メーターの形状が異なります。

OFFのしかた



表示灯

スイッチを押す

- ・エマージェンシーブレーキをOFFにするとスイッチの表示灯が消灯し、メーター内の警告灯が点灯します。
- ・エマージェンシーブレーキをOFFにすると踏み間違い衝突防止アシストもOFFになります。
- ・エマージェンシーブレーキのみOFFにすることはできません。

エマージェンシーブレーキの設定をOFFにした場合でも、再度エンジンを始動させると自動的にONになります。

エマージェンシーブレーキは運転者の安全運転を補助するものであり、あらゆる状況での衝突を回避するものではありません。運転者はシステムに頼った運転をせず、周囲の状況に注意して常に安全運転を心がけてください。

※本システムについての重要な注意事項が記載されているため、必ず取扱説明書もお読みください。